

# 帰国研修員レポート

## 【帰国後の現地活動状況】



トンガ帰国研修員レポートより；  
・カラカゴミ捨て場の再生支援が完了

コソボ帰国研修員レポートより；  
・コソボ火力発電所の環境対策でミーティング

報告者：コースリーダー 川崎 淳司

2014年6月20日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

## ～JICA/KITAの技術研修を終了後、母国で活躍されています 帰国研修員メンバーの現地便りを紹介します～

今回、ご紹介する帰国研修員便りは、過去JICA受入れ研修コース「産業環境対策」と「廃棄物管理技術(A)」で勉強された研修員皆さんの帰国後の活動状況です。技術研修コースを担当された川崎淳司コースリーダーより帰国研修員皆さんの活躍状況を紹介して頂きました。研修員の皆さんからたくさんの便りが届いておりますので今回はその中から4件をご紹介します。引き続き次号でご紹介します。

### 1.担当コースリーダーと今回レポートされた帰国研修員

#### 【川崎淳司コースリーダーからメッセージ】



今回、ここに掲載されたレポートは、平成23年～24年に来日した研修員からの便りです。彼らは、丁度、私の子供たちの年齢と同じ位で、日本に滞在中はマイファザーと呼んでくれていました。その彼らが、憧れの日本で、日本が世界に誇れる環境保全とその技術を学び目で確かめて帰国しました。そして、日本で得た知見を母国の環境改善に活かそうと、今、活動しています。これらレポートは、彼らの活動のスタート点を私に伝えてきたものに過ぎませんが、日本で得た知見を彼らの業務に活かそうという意欲が読み取れるものです。


同時に彼らが滞在したこの北九州市で、多くの市民の皆さんとの交流やホームビジットなどを通じ日本の文化にも触れて帰国しました。その彼らが、日本から遠く離れた国々で日本人の優しさや几帳面さ、或いは、安全・安心な生活（日本人は余り意識はしていませんが…）などを紹介してくれていると思うと、日本人として誇らしく、また、嬉しく思います。このJICA/KITAの研修が、日本と開発途上国の懸け橋として今後とも有意義であることを願ってやみません。

#### 【今回レポートされた帰国研修員の皆さん】

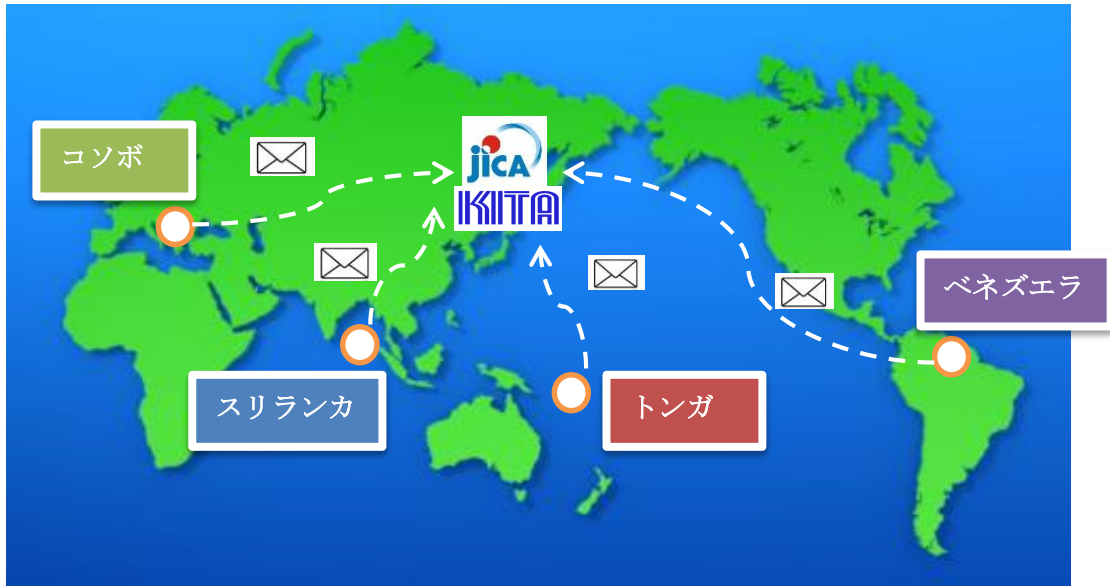
研修員名 (通称)	Ms. ABEYRATHNE HERATH MUDIYANSELAGE Dhammika Padmini Bandaramenike (ダンミさん)	Mr. PONGI Manase Tuia (マナセさん)	Mr. TUSHA Adem (アテムさん)	Mr. ROMERO ARRAEZ Juan Iqnacio (ホアンさん)
研修コース名	産業環境対策	廃棄物管理技術 (A)	産業環境対策	産業環境対策
研修時期	2012/1/18～ 2012/4/28	2012/7/22～ 2012/9/22	2013/1/16～ 2013/4/27	2013/1/16～ 2013/4/27
国名	スリランカ	トンガ	コソボ	ベネズエラ

## 2. 帰国研修員の皆様のご紹介


～世界各地からアクションプランの活動状況便りが届いています～

①	
ダンミさん	
国名	スリランカ
研修コース名	産業環境対策
研修時期	2012/1/18～ 2012/4/28

②	
マナセさん	
国名	トンガ
研修コース名	廃棄物管理技術 (A)
研修時期	2012/7/22～ 2012/9/22



③	
アデムさん	
国名	コソボ
研修コース名	産業環境対策
研修時期	2013/1/16～ 2013/4/27

④	
ホアンさん	
国名	ベネズエラ
研修コース名	産業環境対策
研修時期	2013/1/16～ 2013/4/27

### 3. 帰国研修員の活動状況 (順不同)

#### ダミさんからの便り

**【概要】**

日本で作成したアクションプラン「環境意識向上プログラムの実施」を基に所属先の北西州環境局にその実施提案書を提出し、その計画に基づき以下のプログラムを実施しました。

2012年/2013年

- ・企業家・児童(学生)・政府職員の意識向上プログラムの開催。

2014年3月

- ・警察官の意識向上プログラム開催

2014年6月

- ・世界環境デー記念式典の開催

◆ダミ/レポート

国名： スリランカ

研修コース名： 産業環境対策



ここをクリックしてレポートをご一読下さい。

#### マナセさんからの便り

**【概要】**

2011年にカラカのゴミ捨て場の再生支援(福岡方式の導入)を開始し、2013年2月に再生が完了しました。現在では、ゴミ捨て場でなく、正式にカラカ最終処分場と名付けられ計画通りに機能しています。

◆マナセ/レポート

国名： トンガ

研修コース名： 廃棄物管理技術(A)



ここをクリックしてレポートをご一読下さい。

#### アデムさんからの便り

**【概要】**

課題である「国内の危険化学物質地域の特定」に向け、各関係部署と打ち合わせ、アクションプランを推進中です。

- 1) 環境省でアクションプラン発表
- 2) 環境省職員との会合
- 3) 環境調査官との会合
- 4) 治安部隊との有害化学廃棄物について情報交換
- 5) 火力発電所の環境対策職員との会合

◆アデム/レポート

国名： コソボ

研修コース名： 産業環境対策



ここをクリックしてレポートをご一読下さい。

ホアンさんからの便り

**【概要】**

現在、私が策定したAP「水質汚染レベル把握のための水質指標設定」のためにグアカラ川の水質測定を展開中で環境省の各関係部署との会合も承認を得ております。  
私の所属機関では、アクションプランを進展させることに尽力しています。

◆ホアン/レポート

国名：ベネズエラ

研修コース名：産業環境対策



ここをクリックしてレポートをご一読下さい。

4. 今回レポートされた帰国研修員の閉講式記念写真



閉講式 【産業環境対策】 研修期間(2012/1/18～2012/4/28)



閉講式 【廃棄物管理技術(A)】 研修期間(2012/7/22～2012/9/22)



閉講式 【産業環境対策】 研修期間(2013/1/16～2013/4/27)

送付されたレポート中の写真より抜粋



セミナーにて、環境局局長及び参加者（スリランカ）



ごみ捨て場の再生（トンガ）



コソボ治安維持部隊と共に（コソボ）



グアカラ川の汚染を測定するための水質測定（ベネズエラ）